



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次

問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,369	10.0	1,286	109.5	1,208	142.3	862	228.4
24年3月期第2四半期	14,883	△8.1	614	△59.9	499	△63.4	262	△67.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 658百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 48百万円 (△91.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	27.21	26.99
24年3月期第2四半期	8.30	8.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	34,287	25,831	75.1
24年3月期	34,064	25,479	74.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 25,755百万円 24年3月期 25,375百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	9.3	2,900	68.1	2,800	50.2	1,800	85.9	56.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の変更を会計上の見積りの変更と区別する場合は困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3【サマリー情報(注記事項)に関する事項】をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	34,057,923 株	24年3月期	34,057,923 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,349,977 株	24年3月期	2,365,584 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	31,693,907 株	24年3月期2Q	31,647,084 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
(1) 製品区分別の売上業績	10
(2) 海外売上高	11

※ 当社は、11月に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みからの回復が続いていましたが、世界経済の失速により輸出は低迷しました。内需についてもエコカー補助金の終了にあたり個人消費が頭打ちとなりました。加えてエコカー補助金終了後の反動を見据えて自動車メーカーが減産に入りました。

世界経済の回復は続いているものの、その先行きの不透明感は依然として残りました。欧州危機を背景に、先進国での経済の停滞が新興国での減速に波及し、新興国の減速が再び先進国への減速に拍車をかける事態を招きました。米国経済は、低成長ですが住宅市場は回復の兆しがでてきました。一方で、年末以降に大型減税の失効や歳出の強制削減が待ち受けており財政問題に関しては不確実性が残りました。欧州経済については、しばらくは劇的な状況改善は期待できません。中国経済は、欧州危機を背景に減速しており、その回復の遅れが日本の輸出や生産の低迷その他各国の経済に影響を与えました。また、中国の自動車市場は夏場から消費が冷え込んだことから販売が落ち込んできたところに、日中関係の悪化がそれに追い討ちをかけて日本の自動車産業への影響は大きなものとなりました。

当社グループにおきましても、好調を維持してまいりましたが、夏場以降は自動車の生産台数の落ち込みや日中関係の悪化、パソコン販売の不振に起因するハードディスクドライブやプリンターの販売不振の影響を受けました。

このような環境の下で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は163億69百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は12億86百万円（前年同期比109.5%増）、経常利益は12億8百万円（前年同期比142.3%増）、四半期純利益は8億62百万円（前年同期比228.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### [日本]

第2四半期に入り世界経済の失速の影響、国内消費の頭打ちやエコカー補助金終了を見据えた顧客での生産減少の影響を受けました。第1四半期が好調であったことから結果として、売上高は133億37百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は13億12百万円（前年同期比48.1%増）となりました。

#### [米国]

米国子会社の自動車精密部品は前年に供給開始した製品が好調に推移し、従来からの製品と併せて好調でした。一方、光通信部品の販売は引き続き低調に終わりました。結果として、売上高は13億65百万円（前年同期比50.2%増）、セグメント利益は58百万円（前年同期は78百万円の損失）となりました。

#### [アジア]

中国子会社（広東省広州市）の自動車精密部品は北米同様好調でした。タイ子会社は第2四半期に入ってようやく洪水の影響から抜け出し売上高は第2四半期累計で前年を上回りました。ベトナム子会社及び中国子会社（広東省深圳市）ではプリンター関連部品が世界経済の失速や競合との競争激化により売上高は前年実績を下回りました。結果として、売上高は30億30百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は1億47百万円（前年同期比64.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産・負債・純資産の状況

##### [資産]

総資産は、342億87百万円（前連結会計年度末比2億23百万円増）となりました。これは、保有株式の株価下落により投資有価証券が5億30百万円減少したものの、建設仮勘定（有形固定資産の「その他」）が7億20百万円増加したこと等によるものであります。

##### [負債]

負債は、84億56百万円（前連結会計年度末比1億28百万円減）となりました。これは、未払金（流動負債の「その他」）が3億35百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が2億47百万円、確定納税等により未払法人税等が2億6百万円減少したこと等によるものであります。

##### [純資産]

純資産は、258億31百万円（前連結会計年度末比3億51百万円増）となりました。これは、株価下落によりその他有価証券評価差額金が3億43百万円減少した一方で、利益剰余金が配当により2億85百万円減少したものの、四半期純利益により8億62百万円増加したこと等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、87億68百万円（前連結会計年度末比6億19百万円増）となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、19億58百万円の収入（前年同期比10億80百万円増）となりました。これは税金等調整前四半期純利益（12億23百万円）や減価償却費（8億93百万円）等の増加要因に対し、法人税等の支払額（5億39百万円）等の減少要因があったことによるものであります。

### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億12百万円の支出（前年同期は8億5百万円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得による支出（10億39百万円）があったことによるものであります。

### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億44百万円の支出（前年同期は4億66百万円の支出）となりました。これは、主に配当金の支払（2億84百万円）等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,298	8,918
受取手形及び売掛金	7,495	7,353
商品及び製品	1,321	1,144
仕掛品	1,474	1,339
原材料及び貯蔵品	1,235	1,208
その他	369	373
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	20,193	20,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,256	3,203
機械装置及び運搬具（純額）	4,612	4,365
その他（純額）	2,130	2,875
有形固定資産合計	10,000	10,444
無形固定資産		
投資その他の資産	145	144
投資有価証券	3,288	2,758
その他	436	601
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,724	3,359
固定資産合計	13,870	13,948
資産合計	34,064	34,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,657	4,409
短期借入金	263	249
未払法人税等	540	334
役員賞与引当金	—	12
賞与引当金	319	351
その他	2,062	2,385
流動負債合計	7,844	7,742
固定負債		
退職給付引当金	504	516
その他	235	197
固定負債合計	740	713
負債合計	8,584	8,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,744	2,745
利益剰余金	18,215	18,792
自己株式	△903	△897
株主資本合計	24,863	25,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,308	965
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△796	△657
その他の包括利益累計額合計	511	307
新株予約権	104	75
純資産合計	25,479	25,831
負債純資産合計	34,064	34,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,883	16,369
売上原価	12,509	13,144
売上総利益	2,374	3,224
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	317	347
報酬及び給料手当	476	552
役員賞与引当金繰入額	11	12
賞与引当金繰入額	75	64
退職給付費用	55	53
その他	822	907
販売費及び一般管理費合計	1,759	1,937
営業利益	614	1,286
営業外収益		
受取配当金	30	47
物品売却益	29	36
その他	53	28
営業外収益合計	113	112
営業外費用		
為替差損	215	178
その他	12	11
営業外費用合計	228	190
経常利益	499	1,208
特別利益		
退職給付制度移行益	45	—
新株予約権戻入益	—	39
その他	0	1
特別利益合計	45	40
特別損失		
固定資産廃棄損	4	25
過年度関税追徴損	27	—
その他	—	0
特別損失合計	31	25
税金等調整前四半期純利益	512	1,223
法人税、住民税及び事業税	235	349
法人税等調整額	14	11
法人税等合計	250	361
少数株主損益調整前四半期純利益	262	862
四半期純利益	262	862



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	262	862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△284	△343
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	69	138
その他の包括利益合計	△214	△203
四半期包括利益	48	658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48	658
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	512	1,223
減価償却費	1,070	893
引当金の増減額(△は減少)	61	53
受取利息及び受取配当金	△36	△52
支払利息	9	9
固定資産廃棄損	4	25
売上債権の増減額(△は増加)	23	161
たな卸資産の増減額(△は増加)	356	361
仕入債務の増減額(△は減少)	△682	△257
その他	57	41
小計	1,378	2,458
利息及び配当金の受取額	35	52
利息の支払額	△9	△13
法人税等の支払額	△527	△539
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	877	1,958
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△806	△1,039
固定資産の売却による収入	1	25
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△805	△1,012
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△113	—
長期借入金の返済による支出	△35	△17
配当金の支払額	△254	△284
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△61	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466	△344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△401	619
現金及び現金同等物の期首残高	7,617	8,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,215	8,768

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	11,343	907	2,632	14,883	—	14,883
セグメント間の内部売上高 又は振替高	843	1	293	1,138	△1,138	—
計	12,187	908	2,925	16,021	△1,138	14,883
セグメント利益又は損失(△)	885	△78	89	897	△283	614

(注) 1 セグメント利益の調整額△283百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	12,242	1,363	2,762	16,369	—	16,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,094	1	267	1,363	△1,363	—
計	13,337	1,365	3,030	17,733	△1,363	16,369
セグメント利益	1,312	58	147	1,517	△230	1,286

(注) 1 セグメント利益の調整額△230百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△235百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 4. 補足情報

##### (1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,029	13.6	2,037	12.4	7	0.4
精密機能部品	7,496	50.4	9,342	57.1	1,845	24.6
サスペンション	2,409	16.2	2,289	14.0	△120	△5.0
プリンター関連	1,810	12.2	1,626	9.9	△183	△10.1
デジトロ精密部品	1,064	7.2	987	6.0	△76	△7.2
その他製品	72	0.4	85	0.6	13	18.0
合計	14,883	100.0	16,369	100.0	1,485	10.0

##### [精密機能材料]

弁ばね材料については前年同期は震災の影響で国内自動車向け減少分を輸出向けとして販売しておりました。一方、当上半期は国内自動車メーカーの震災からの復興需要に合わせて当社グループ内における精密機能部品での使用が増えてきたことから、生産量は引き続き好調であったものの前年実績を下回りました。精密異形材料については好調であったことから20億37百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

##### [精密機能部品]

国内自動車産業の復興に合わせて、エンジン用途、ミッション用途、安全装置用途及び機能部品すべてで前年同期実績を上回り93億42百万円(前年同期比24.6%増)となりました。

##### [サスペンション]

第2四半期に入り、HDD市場のパソコン向け不振による急速な落ち込みの影響を受け22億89百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

##### [プリンター関連]

世界経済の失速に加えて、タイの洪水影響が一部残っていたことや競合他社との競争激化により16億26百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

##### [デジトロ精密部品]

光通信部品の販売低迷により9億87百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,274	588	5,313	99	7,276
II 連結売上高（百万円）					14,883
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.6	4.0	35.7	0.7	48.9

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,877	366	5,237	163	7,644
II 連結売上高（百万円）					16,369
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	11.5	2.2	32.0	1.0	46.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……米国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。